

令和7年7月28日

LCV-FM トワイライト交差点 環境コーナー

テーマ【生物多様性と土】

一般社団法人長野県環境保全協会（齊藤）

1. 毎日の猛暑で、温暖化がエスカレートしている？

気象庁は1日、6月の日本の平均気温は統計開始以降で最高だったと発表しました。日本以外のスペイン、イングランド、ポルトガルでも6月は過去最高気温だったようです。7月も連日暑く、まさに地球沸騰です。

2. 地球環境はどうなってしまう？把握するには？

環境の状況について、国では「環境白書」というものを作っていて、令和7年版は、環境月間であった先月の6日に閣議決定され、公表されました。

現在の環境白書は、「環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」を一つの白書にまとめて公表しています。

7年版のテーマは、『「新たな成長」を導く持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築』です。

3. 目いっぱい盛り込んでいる印象。

「環境問題とその課題解決は全てが繋がっていて経済システム全体の課題である」ことの現れだと思います。白書の冒頭は環境大臣の次の言葉で始まります。

「私たちの暮らしは、食料や水の供給、気候の安定など、自然から得られる恵みによって支えられています。しかし今や、人類の活動は、地球の限界を超えつつあり、自らの存続の基盤である自然環境を破壊し、気候変動や生物多様性の損失、深刻な環境汚染など様々な環境問題を生じさせています。」そして、

「環境危機を克服し、環境のもたらす恵みを将来世代まで引き継いでいくためには、ネット・ゼロ、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーを統合された形で目指す経済社会構造へと大胆に変革していくことが必要不可欠です。」と記載されています。

4. 「ネイチャーポジティブ」はどういう意味合い？

「ネイチャーポジティブ」は日本語では「自然再興」となります。「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」という取組です。『今人類は、「気候変動」、「生物多様性の損失」、そして「汚染」という3つの危機に直面している』、と言われており、対策は待ったなしです。

5. 環境に関する関心は高まっており、知る機会・学ぶ機会が大切。

環境保全協会が実施する企画は？

様々な企画がありますが、明日7月29日から8月11日まで、八十二銀行本

店の別館で八十二文化財団さんが主催し私共長野県環境保全協会が共催して、「第4回環境展」を開催します。

テーマは「自然との共生～土壌の生物多様性がつくる健康長寿～」です。

8月2日の13:30からは、別館ロビーで、横浜国立大学と福島大学の名誉教授の金子信博氏による「人や緑の健康を支える土壌生態系」のテーマでのミニ講座があります。講演は入場無料でお申込みは八十二文化財団HPからです。

6. 土壌の生物多様性が健康長寿につながる？

先月の放送で、人間の腸の中には未発見種を含めて、千種類以上の腸内フローラがいるという話をしましたが、土壌中には100万種いるとも言われていて、人間の健康とも繋がっていて、大変興味深いです。

7. 「土壌」いわゆる「土」は、どうやってできている？

実は、岩が砕けてどんなに細かくなっても、「土」になりません。

「土」とは、岩石が細かくなった砂と粘土と、微生物の働きで植物や動物の遺体などが分解したものと、沢山の土壌生物が混ざり合ったもののことで、

「土」は生きています。地球上の生命の6割が土壌中に住んでいて、「土」は人と自然との共生のシンボルのような存在です。

生物がいない太陽系の他の惑星には、土はありません。

8. 「土」は不思議で神秘的。心がワクワクする世界。

農業は「土づくり」と言われますが、「食とは？」を考える「食育」は「人づくり」でもあります。私の趣味は合唱ですが、カンタータ「土の歌」という合唱組曲があり、心に響く歌です。今年は「土」に注目ですかね。

有機栽培で作った野菜が美味しいのは実感しています。土を大切にすると気持ちも豊かになりそうです。

以上